

障がい者スキー交流会2023



期日 2023年3月4日(土)～5日(日)

会場 安比高原スキー場

宿泊希望の方は各自ご予約ください。

主催 岩手県、一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会

講師 公益社団法人日本プロスキー教師協会 (S I A障がい者スキー委員会)

合言葉は“Possibility is endless” (可能性は無限大！)



①チェアスキー

日本ではチェアスキーと言いますが、世界的にはモノスキーといいますが、モノ(一つ)ということで1本のスキー板がついています。下肢に障害のある方でも上肢の筋力のある方や握力のある方に適しています。1本板ですのでバランスは不安定ですが操作性が高く、慣れてくるとリフト乗降も一人ですることができます。

②バイスキー

重度脳性麻痺や四肢麻痺の方などが使用します。バイ(両方)ということで2本板のスキーがついています。安定性がありますが、ずらしは難しく、減速などスピードコントロールを要するため、必ず介助者が必要です。補助輪の役目を果たす小さなスキーを装着することにより、自立した滑走感を味わえるのも魅力です！

③スノーカート

上半身が安定し、片方の腕が動けば単独でスキーを楽しむことができます。専用ハンドルで緩斜面を自由自在に滑ることができます。そして2本の板で滑るこのモデルは滑走する斜面を選び、ゆっくり滑れば転倒することはありません。子どもから大人まで楽しめます！

④3トラック(アウトリガー使用)

片足切断等の下肢の機能障害がある方を対象とします。また、一本足でのスキーコントロールを補助するためアウトリガーを使用します。岩手県にも数多くの3トラックスキーヤーがいましたが、最近では高齢化によりスキー場で見かける機会は減りました。ヤング世代を含めて体験したい方は是非この機会にご参加ください！



上記の他、視覚障がいガイド用機器など様々な障がいに対応する用具を活用してより多くの方が気軽にスキーを楽しめるよう取り組みたいと思います！

☆問合せ・申込先☆

(一社) 岩手県障がい者スポーツ協会

〒020-0831 岩手県盛岡市三本柳8-1-3 ふれあいランド岩手内

TEL019-637-5055 FAX019-637-7626

E-mail: t-miura@iwate-adaptive.or.jp (携帯からでもOK)

申込期限 令和5年2月24日(金)

